

# 日本の近代戯曲研修セミナー in 東京《第17回》 リーディング演出／川口典成

## 秋元松代『常陸坊海尊』を読む！

### 研修日（全8回予定）

研修の様子を見学できます。また、議論への参加も歓迎します。

■2月25日（日） 13:00－18:00

#### 「戯曲に触れる」

戯曲を声に出して読んでみることで、作品の言葉に触れると同時に、研修参加者が戯曲あるいは作家に対しての課題を持ちよりそれについて議論する。

■2月28日（水） 13:00－18:00

#### 「作家を知る」

作家の人生を知ることで、作品と時代との関わり、どのような変化が訪れているかを学び、作家の魅力と特徴を探る。主に初期作品に触れる予定。

■3月1日（木） 13:00－18:00

#### 「戯曲を読み込む」

課題戯曲の精読を行い、戯曲の構造などを分析する。

■3月4日（日） 13:00－18:00

#### 「『常陸坊海尊』とその説話」

『常陸坊海尊』『かさぶた式部考』は日本の説話から着想を得て執筆されている。『常陸坊海尊』の中には義経の従者であった常陸坊だけでなく、曾我兄弟の話や、即身成仏にまつわる話など、様々な伝承が顔をのぞかせる。秋元が影響を受けた柳田国男『山の人生』『雪国の春』を読み、作品の中で説話が果たしている役割と魅力を検討する。

■3月9日（金） 13:00－18:00

#### 「秋元松代と大衆性」

秋元松代を読み解くキーワードとしては「民衆」というほうが正しいのかもしれない。だがここでは「民衆／大衆」の差異に注目することで、戦争へと至ることになる日本の近代化や、戦後の高度経済成長への秋元の眼差しを確認する。

16:30－「秋元松代とその作品」◎ゲスト：山本健一

『劇作家 秋元松代』（岩波書店）の著者である山本健一氏を招き、秋元松代作品の魅力に迫る。

#### 《ゲストプロフィール》山本健一（やまもと・けんいち）

1944年東京生まれ。演劇評論家。慶応義塾大学法学部卒業。朝日新聞学芸部で1970年代後半から演劇分野の担当記者となり、現代演劇を中心に報道・批評をする。編集委員を経て退職。現在日本大学芸術学部非常勤講師。朝日新聞夕刊で劇評を寄稿している。共著書に「げいのう舞台再訪」「戦後芸能史物語」など。

以下の3日間は、これまでの研修成果をもとに、リーディング発表に向けて研修を重ねる。

■3月11日（日） 13:00－18:00

■3月13日（火） 13:00－18:00

■3月16日（金） 13:00－18:00

料金：各回500円（テキスト代は別途実費の場合あり）

※演出者協会員は無料

### リーディング発表 & シンポジウム

■3月17日（土）

15:00～リーディング発表『常陸坊海尊』

17:00～シンポジウム

■3月18日（日）

15:00～リーディング発表『常陸坊海尊』

17:00～シンポジウム

※ゲストパネラーは決まり次第、web上にてお知らせします。

<http://jda.jp/>

※両日ともに、終了後、懇親会あり。

料金：各回1,500円（全席自由席）

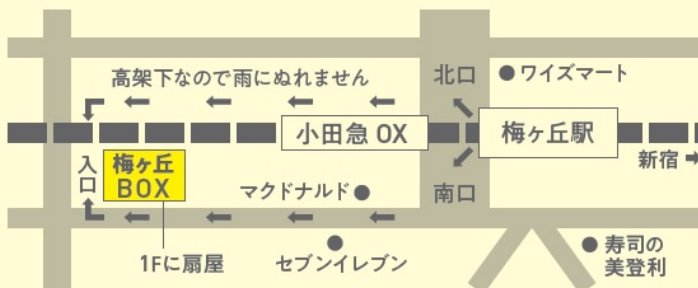
※演出者協会員は無料

※チケットをご購入の方は、シンポジウムには両日参加可能です。

### 各会場：梅ヶ丘BOX

〒154-0022 東京都世田谷区梅丘1-24-14 フリート梅丘B1

★小田急線「梅ヶ丘」駅南口徒歩1分



### お申込み・お問合せ

近代戯曲研修セミナー東京実行委員会

✉ [kindaigikyoku@yahoo.co.jp](mailto:kindaigikyoku@yahoo.co.jp)

☎ 090-6513-7904（コバヤシ）

お名前、年齢、所属、連絡先（メール、電話など）を明記の上、メールにて、あるいはお電話にてご応募ください（電話には出られない場合がありますので、留守電にメッセージをお願いいたします）

|      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|-------|
| 実行委員 | 中村孝夫 | 川口典成 | 黒川逸朗 | 黒澤世莉  |
|      | 小林拓生 | 坂手洋二 | 篠本賢一 | 外波山文明 |
|      | 林英樹  | 日澤雄介 | 松森望宏 | 丸尾聡   |



文化庁委託事業

「平成29年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催：文化庁、一般社団法人日本演出者協会

制作：一般社団法人日本演出者協会

宣伝美術：松田陽子

プロデューサー：丸尾聡

プロデューサー補：小林拓生

企画・製作：一般社団法人日本演出者協会